

登戸駅に快速急行を停めて!

小田急本社と交渉

地下二層化・複々線化も

二つの会ともに交渉したのは、全部で七項目です。主な項目に対する回答は次のとおりですが、井口市議は、それぞれの項目について、住民の声をよく聞くよう、小田急に対し強く求めました。

登戸駅に快速急行を停車すること

小田急電鉄は快速急行について「遠くに早く着くようになり、それを願う人が利用することによって他の急行の混雑率が緩和している」として、登戸停車を受け入れようとしました。しかしこれは、これまで小田急をずっと利用してきた川崎市内の利用者をまったく無視した話です。井口議員は「引き続き利用者の声を届ける」と宣言してきました。

準急を増やしてほしい

準急が減り、生田、読売ランド前駅の利用者はたいへん不便になつてきることについて、「日中については考えたい」とのことでした。

削られて市民の悲鳴が次第に大きくなり、それを具体的に指摘しました。

寝たきり高齢者の介護をしていた家庭に、月1万円援助していました。

見ればわずかな予算の削減で、本当に困っている市民がいることをとりあげました。

見ればわずかな予算の削減で、本当に困っている市民がいることをとりあげました。

</div